

1 令和4年度「子供を笑顔にするプロジェクト」

(1) 参加学校数（公立学校） 1,717校／2,136校（80.4%）

(2) 特徴的な事例 各学校の特色・状況に応じて、多様な体験を展開

① コロナ禍で我慢してきた生徒の
気持ちを前向きに
（アーティストによる生演奏）② 友達と一緒に楽しく演じることで、
表現力を育成
（参加型即興劇）③ 友達と協力して、楽しく身体を動かし、
積極性や協調性を醸成
（協働型体験）④ 実体験を通して、障害者を理解
（パラスポーツ体験）⑤ 観戦を通じて、スポーツの素晴らしさを実感
（WBC学校観戦）

(3) 子供・学校の反響等

【子供】・コロナで辛いこともたくさんあったけれど、元気が出た。前向きに頑張っていきたい。

・車椅子の方は大変そうと思っていたが、工夫して楽しんでいるとの話には驚いた。パラスポーツに興味をもった。

【学校】・日常と異なる環境で活動する子供たちの姿には、教室では表れない一面も見られ、学級づくりに結び付いた。

2 令和5年度「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」

(1) **趣旨** 令和4年度「子供を笑顔にするプロジェクト」の実施状況を踏まえ、引き続き、多様な体験活動の機会を提供し、学校における体験活動の充実を図る。

(2) 事業の概要

【対象】 都内の全公立学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）

【内容】 多様な体験プログラムを企画・提示、学校が希望する体験を実施

①協働して課題解決に取り組む体験

積極性・協調性
コミュニケーション



(例：校外・校内でのチームアクティビティ)

②他者理解・共生社会に資する体験

他者理解



(例：ブラインドコミュニケーション)

③科学・先端技術等に触れる体験

先端技術
科学



(例：サイエンスショー)



(例：先端技術等の
実証フィールド見学)

④オリンピック等との交流・指導・講演等

スポーツ



(例：オリンピックによる講演)



(例：オリンピックによる実技指導)

芸術・文化



(例：作品制作・ワークショップ)



(例：校内・校外における鑑賞体験)

⑤様々な芸術・文化に触れる体験

(3) 申込状況（4月末） **1,732校** / 2,132校 (81.2%)

(4) 今後の実施予定

「チームビルディング型運動会」

小学校（第5・6学年）5月26日（金）

◆協働して課題解決に取り組む体験

スポーツ体験を通して、挑戦する心や協調性、多様性を学ぶ、誰でも楽しめるチームビルディングを取り入れた運動会



舞台公演の鑑賞・演者との交流

6月上旬（調整中）

◆様々な芸術・文化に触れる体験

劇場での公演鑑賞に加え、子供たちと演者との交流、バックヤードの見学など